

女性活躍推進に関するアンケート調査

村上ゼミナール 社会人調査

1

調査対象・調査方法

- ・身の回りの家族や友人、OBなどにGoogleフォームを用いて、アンケート調査を行なった。
- ・アンケート回答数：105人

2

調査目的

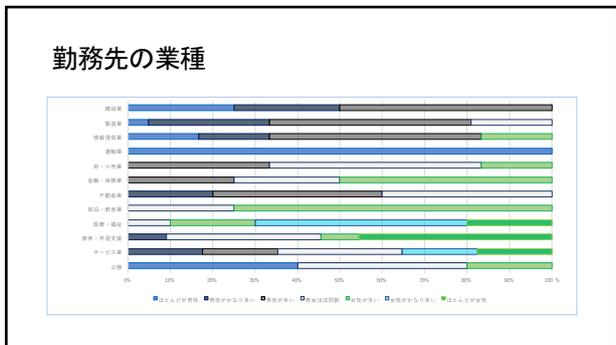
- ・『なぜ女性管理職は少ないのか』に、「男女ともに既存のジェンダー意識を問い直す段階に入っている」と書かれていた。そこで、職場での男女意識の現状を調査したいと考えた。管理職に関するイメージや管理職志望の男女差について、学生と社会人の比較をする。

3

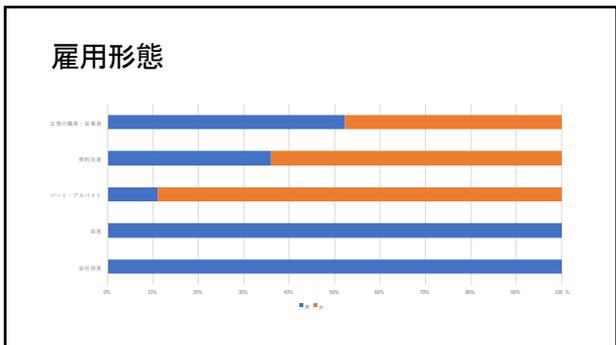
調査仮説

- ・男女意識：既存の男女意識がまだ職場に根づいているか。
- ・管理職に対するイメージや管理職への昇進意欲：女性の方が男性に比べてマイナスイメージが強く、昇進意欲も低い。

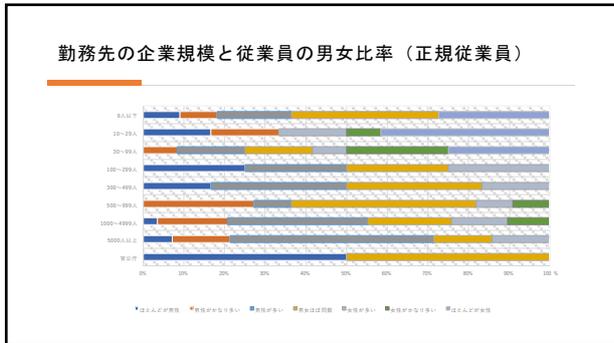
4



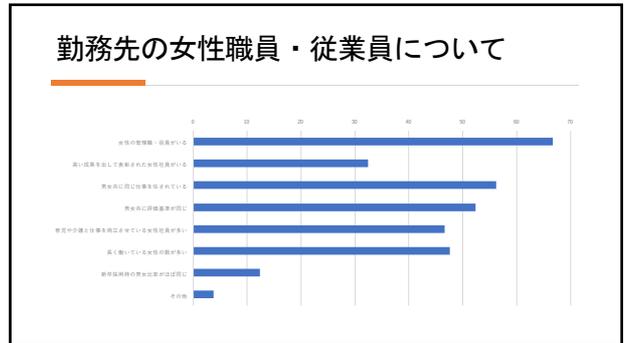
5



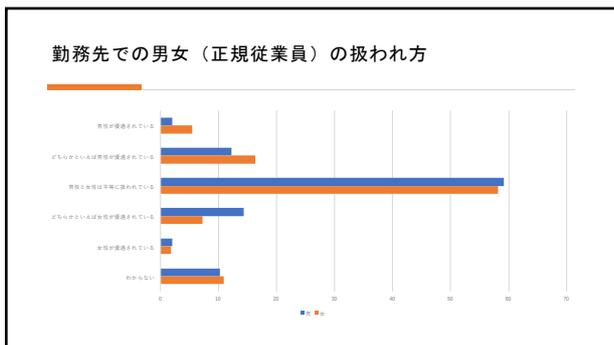
6



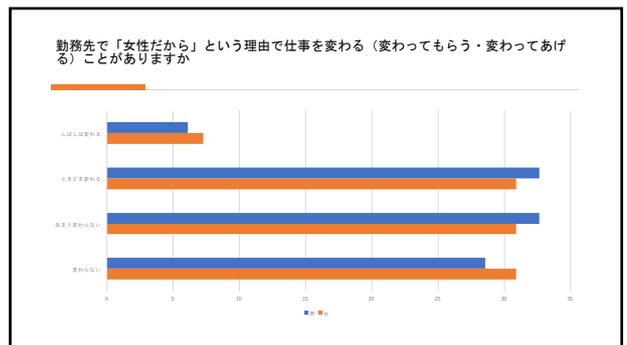
7



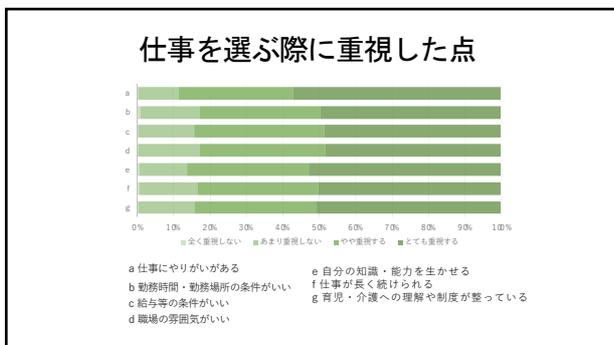
8



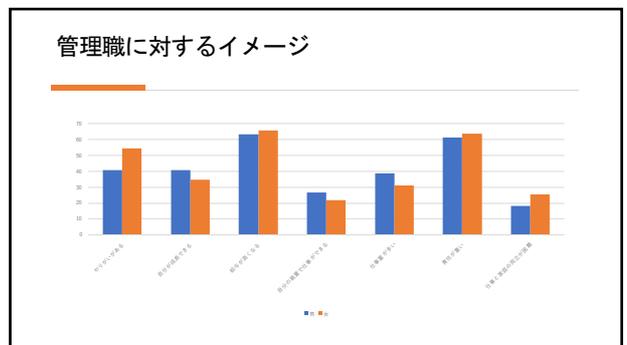
9



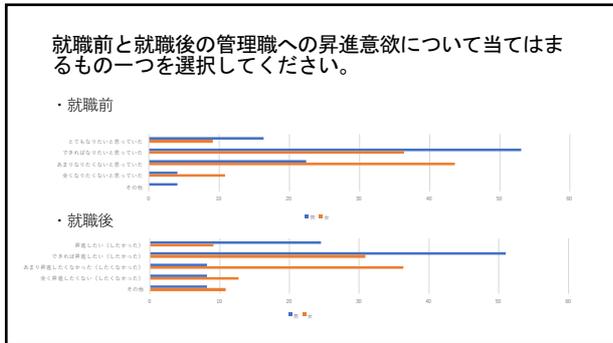
10



11



12



13

まとめ

- 既存の男女意識が職場に根づいていると仮説したが、スライド8のグラフから、男性と女性は平等に扱われているという回答が多かった。
⇒今回の調査からは、既存の男女意識が職場に根づいているとは言えなかった。
- 女性の方が男性に比べて管理職に対するマイナスイメージが強く、昇進意欲も低いという仮説をたてたが、スライド11から管理職に対するイメージの男女間の差は無かった。しかし、スライド12から就職前と就職後の昇進意欲については男女間で差が大きく見えた。
⇒今回の調査から、男女間で管理職に対するイメージには大きな差がなかったが、管理職への昇進意欲は仮説通り女性の方が昇進意欲が低い結果となった。

14